《神奈川ボランタリー活動推進基金協働事業負担対象事業》

VOL. 151
2018年8月15日発行

虹

題字：慈雲老大師（円覚寺派前管長）

■編集・発行／神奈川骨髄移植を考える会
〒254-0042 神奈川県平塚市明石町 24-25-309　黒部設計事務所内　　発行責任者／村上忠雄
TEL:090-4713-7300　FAX :0463-25-1383　https://www.bmtkanagawa.com/　E-mail:bmtnoniji@yahoo.co.jp
■日本骨髄バンク　http://www.jmdp.or.jp　■全国骨髄バンク推進連絡協議会　http://www.marrow.or.jp

平成30年度BMT神奈川総会開催

6月30日（土）、平成30年度神奈川骨髄移植を考える会総会が波止場会館で開催され、25名が出席しました。

冒頭に会長から以下の挨拶があり、その後議事に入りました。

「BMT 神奈川では新会員、若い人たちの加入促進で会の活性化を図るとともに、会員相互の交流と親睦を図り楽しくかつ充実した活動を目指しています。神奈川県と共催で実施している“骨髄ドナー登録説明員養成講座”の修了者に神奈川の会への入会と骨髄バンクのボランティア活動への参加を呼びかけた結果、多数の方々に賛同いただきました。会員の若返りとドナー登録者増加等活動に成果が現われてきており、バランスのとれた躍動感あふれる活動が出来ていることに感謝しております。」

事業報告では、大学等での献血併行ドナー登録回数及び登録者増がえており、登録者数は 28 年度 695 人に対し 29 年度は 1.146 人と大幅に増加したと報告がありました。

収支決算報告では、寄付金、事業収入が前年に比べかなり減少し、その分次年度繰越金も減少したと報告がありました。

役員は、副会長の変更がありましたが、他は前年度と変更はありませんでした。

事業計画は、大学等若年層への普及啓発と献血併行ドナー登録会の実施、県と共催で「骨髄ドナー登録説明員養成講座」の開催等の他、新たにかながわボランタリー活動推進基金 21「骨髄ドナー登録推進事業」の実施、骨髄ドナー助成制度の拡充について県、市町村への働きかけを行うこととなりました。予算案は、チャリティーコンサート収入の減に伴う佐藤きち子基金への寄付について質疑がありましたが、収益金は患者支援に充てるという原点に立ち返り、従来通り 10 万円寄付することになりました。

平成 29 年度事業、収支決算、監査報告、30 年度役員、事業計画、予算案の議案はすべて承認されました。

総会後、新会員、活動歴の長い会員との情報交換、意見交換がフリートーキングで行われ有意義な時間を過ごすことが出来ました。　（村上）

平成 30 年度役員

会長	村上忠雄
副会長	黒部光司/岩崎眞一郎/髙橋真知子/齋藤敏雄/中島惠子/小石川知子
事務局長	黒部光司
会計	小澤やす子
監事	山田晶久/齋藤宗憲
ドナー登録・普及啓発部会長	岩崎眞一郎
財務部会長	岩崎眞一郎
患者・患者家族サポート部会長	齋藤敏雄
広報部会長	中島惠子
厚木支部長	角田勇
川崎支部長	髙橋真知子

顧問

加藤俊一先生（元東海大学医学部付属病院）
金森平和先生（神奈川県立がんセンター）
松崎道男先生（松崎内科クリニック）
矢部普正先生（東海大学医学部付属病院）
藤澤信先生（横浜市立大学付属病院）
和氣敦先生（国家公務員共済組合虎ノ門病院分院）

総会の様子。新会員が増えました

平成 29 年度収支決算報告（平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）

◆収入の部

項目	H29 年度決算	H29 年度予算
会費	224,000	230,000
寄付金	443,600	1,000,000
募金	83,630	100,000
事業収入	713,500	900,000
販売収入	24,000	3,000
雑収入	152	50
小計	1,488,882	2,233,050
前年度繰越金	2,963,403	2,963,403
合計	4,452,285	5,196,453

単位：円

◆支出の部

項目	H29 年度決算	H29 年度予算
事業費	1,038,828	900,000
会議費	37,517	50,000
全国協連費	0	150,000
通信費	134,665	200,000
広報・印刷費	305,252	250,000
物品購入費	414,180	400,000
事務用品費	119,198	100,000
事務局費	150,000	150,000
交際・雑費	29,338	50,000
寄付金	10,000	110,000
予備費	0	2,836,453
小計	2,238,978	5,196,453
次年度繰越金	2,213,307	
合計	4,452,285	5,196,453

単位：円

会員の笠原さんから寄付をいただきました
ありがとうございました。

総会後には懇親会で親睦を深めました

神奈川県で骨髄ドナー支援事業開始

神奈川県では、平成 30 年度から骨髄ドナー支援事業を開始しました。内容は、骨髄・末梢血幹細胞の提供のために通院･入院した日数に応じて、骨髄等を提供したドナー及びそのドナーが勤務する事業所に対して、市町村が補助した経費の 1 / 2 を補助するものです。

制度化した背景として、骨髄ドナー登録者は増加傾向にあるものの、実際に提供まで至った件数は少ないことが課題となっている中、平成 29 年 3 月の県議会で、『県民の健康を守り、ドナー（骨髄提供者）の提供しやすい社会環境づくりを図る「骨髄バンク・ドナー助成制度」の創設・実施について』の請願が採択されたことなどを踏まえ、平成 30 年度当初予算編成において、予算化したものです。

平成 30 年度は、横須賀市、鎌倉市、大和市、愛川町、松田町の 5 市町で実施しております。今後、他の市町村においても、この制度を活用してもらえるよう働きかけてまいります。

（神奈川県がん・疾病対策課　松本進）

（補助内容について）

	ドナー	ドナーが勤務する事業所
補助対象	県内に住所があり、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業で骨髄等の提供を完了した者（骨髄提供に伴う休暇制度がある事業所に勤務する者を除く） ※常勤だけでなく、非常勤や日々雇用、個人事業主も対象	対象のドナーが就業する国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人及び骨髄提供に伴う休暇取得が可能な事業所を除く）
補助内容	次に掲げる骨髄等の提供に要した日数に応じた補助額 （1） 健康診断又は自己血採血のための通院･入院 （2） 骨髄等の採取のための入院 （3） その他骨髄バンク又は医療機関が必要と認める通院、入院	
助成金額	1日2万円（上限7日間）	1日1万円（上限7日間）

＊助成金は神奈川県と市町村が折半して負担する

基金21「骨髄ドナー登録推進事業」がスタート

平成 30 年度の県との協働事業として「骨髄ドナー登録推進事業」の実施について提案し、かながわボランタリー活動推進基金 21 の審査会で、協働事業として採択され、今年の 4 月より負担金が支給され事業を実施することとなりました。概要は次の通りです。

【目的】

県民の健康を守りＱＯＬ（生活の質）の向上を目指し、骨髄移植、骨髄ドナー登録を推進し、白血病等がん患者や家族への支援をする。

事業１　骨髄ドナー登録説明員養成講座・ドナー登録事業

「主旨」

骨髄ドナー登録者数を増やすために、骨髄ドナー登録説明員養成講座を開催し、修了者の中から説明員を雇用しドナー登録を実施する。なお説明員の雇用はがん患者を優先し、生活の自立と社会復帰の足掛かりに繋げる。

「内容」

①ドナー登録説明員養成講座

１コース１０名募集、年間２コース開催

②ドナー登録会

○献血ルーム：横浜駅東口クロスポート・横浜 Leaf・かわさきルフロンの３ルームで月３回年間３０回

○献血バス：月平均５回年間５０回程度実施

事業２　骨髄バンク推進普及啓発事業

「主旨」

若年層を対象として骨髄バンク及び骨髄ドナー登録の推進を図るため普及啓発事業を実施する

「内容」

①講演会・シンポジウムとパネル展示

②ホームページによる情報提供

③若年層への普及啓発、ボランティア活動計画の企画立案

事業３　協力団体開拓事業

「主旨」

基金２１の事業終了後も本事業の継続のため、協力団体の開拓を図るための仕組みづくり、ネットワーク構築事業を実施する。

「内容」

①協力団体・企業等ネットワーク構築計画

②当団体内で関係者の協力を得てできる患者支援グッズ、ＢＭＴ神川の啓発用グッズ、機関紙、ホームページ等での広告

③資金作りに関する調査研究、研修受講等

「総予算額」　4.180.000 円（内県負担金　3.880.000 円）

《シンポジウム開催のご案内》

骨髄バンク推進普及啓発事業の一環として、「今、ドナーに希望を求めて」と題したシンポジウムを開催します。俳優の木下ほうか氏にドナー体験を語っていただきます。

日時：9 月 16 日（日）13：30～16：30　/　場所：かながわ県民センター２階ホール

ホームページからチラシをダウンロードできます。

【申し込み方法】

9 月 10 日（月）までにメールか FAX で申し込み（申し込み多数の場合は抽選し、外れた方のみ連絡）

メール：kikin21bmt@yahoo.co.jp　（HP の申込送信用ページを利用ください）　/　FAX: 0463-25-1383

①件名：あなたの勇気　②氏名（ふりがな）　③電話番号　④参加人数

を記載してください。

（HP はこちら）

今日も元気なともちゃんレポート

スポニチいわて奥州きらめきマラソン

5 月 20 日（日）、スポニチいわて奥州きらめきマラソン大会で初の 10 キロランに挑戦してきました。

体調は絶好調とは言えなかったので、実は前日まで出走を迷っていました。でも周りの人のサポートに後押しされて、ゴール出来なくても記念になれば…と出走を決意！

全国ランニング 100 選に選ばれるほど、景色も良く、地元の声援も温かい中、たくさんの感動を頂きながら無事ゴール！

心に残るランになりました！

大切な人、大切な身体、私は幸せです。臍帯血移植してから、約 4 年半です。

聖蹟桜ヶ丘リレーマラソン

5 月 27 日（日）、聖蹟桜ヶ丘リレーマラソン！

晴天の空の下、41.25km を 9 名の仲間とタスキを繋いでゴールしました。

タスキを繋ぐたびに深まっていく仲間との絆！

気温上昇で身体は暑いけど、もっともっと心が熱くなる感動を共有してきました！

今回お揃いのチーム T シャツは、全国骨髄バンク推進連絡協議会からお借りした物。【つなげよう いのち】と骨髄バンクのタスキはリレーマラソンにはピッタリのアイテムで、皆さんの目にとまり、興味を持つキッカケになってくれたらと思います。

全国ボランティアの集い in 東京参加報告

6 月 9 日(土)、全国協議会主催の「全国ボランティアの集い in 東京」が開催されました。

日本赤十字社の広い会議室は、約 150 名参加者で満席。

国立がん研究センターがん対策情報センター長　若尾文彦先生の「がんになっても、尊厳を持って安心して暮らせる社会を目指して」の記念講演では、信頼できるがん情報の選び方などについて学ばせていただきました。

告知のショックと同時に、患者は情報収集に躍起になります。

間違った情報や、古い情報、恐ろしく絶望的な情報が溢れる中で、安心できる正しい情報の入手は、治療やその後の人生を前向きに進む事も左右する大切な事であると、改めて気付かされました。

シンポジウムでは、「病気は克服できたけど~その後に続く長い人生」をテーマに、お互い骨髄移植を受けたパートナーと結婚し、里親を選択し子育て奮闘中のお話など、人生を前向きに大切に楽しんでいるお話には笑顔と元気を頂きました。

そして最後は歌手 ERIKO さんが、がんサバイバーの一人として、手術後の人生をよりよく生きたいと、懸命に歌手活動を続けてきたお話は、美しい歌声と共に、皆さんの心に響き渡り、生きている喜びを感じ、今後の活動の発展を願うものでした。　（星野）

文教大学湘南キャンパス登録会

5月10日（木）文教大学湘南キャンパスにおいて、献血併行型ドナー登録会を開催しました。当日は、午前中に大雨が降り、真冬のような寒さとなりました。傘を差し、講義に急ぐ学生さんが多かったですが、それでもこちらが配布するチラシを受け取ってくれたことが今回初参加の私には印象的でした。

午後は一転、雨が上がり快晴となり、登録会に足を運んでくれる学生さんも増えました。結果として14名の方に説明を行い、うち10名の方に登録していただきました。

私は今回チラシ配布と呼びかけを行いましたが、午前中配布したチラシを片手に登録会で説明を受けている学生さんを目の当たりにしたことで、呼びかけることで応えてくれる若い世代の方も多くいるのだなということを実感しました。

今後も神奈川県赤十字血液センター及び神奈川骨髄移植を考える会の皆様にご協力をいただきながら、ドナー登録会を開催してまいりますので、よろしくお願いします。（神奈川県がん・疾病対策課　真辺龍太郎）

白血病は治ったけれど「患者サロン」第９回を終えて

去る６月２３日（土）横浜市社会福祉センターにおいて２３名が参加し第９回患者サロンが行われました。今回は、北里大学血液内科学教授鈴木隆浩先生をお招きし、「骨髄性腫瘍の治療選択」と題して６０分にわたり、患者や家族、支援者に分かりやすく講演をしていただきました。その後、腫瘍系と非腫瘍系の２グループに分かれて治療の副作用、骨髄移植後の晩期障害や注意すべき普段の生活について話し合いました。治療後の経過は十人十色ですが、それぞれに体験を語り合うことで「希望や安心」「励まし」へと繋がっていったようです。一方、治療中の患者さんにとっては今が「戦場」、不安や心配は尽きなく、鈴木先生や経験者を囲んで熱心な話が続きました。最後に「がんばって」「よくなりますように」と思わずつぶやいたひと言がどうか届きますように。

次回第１０回患者サロンは<１０月２０日（土）午後２時より　横浜市社会福祉センターにて>行います。ご本人はもちろん周囲の患者さんやご家族もお誘いください。（髙橋）

新会員からのごあいさつ

縁あってBMTの会員となった小北さん。いよいよ説明員としても活動を始めました。
お仕事はカメラマン。ご本人のホームページもどうぞご覧ください。https://ippeikokita.myportfolio.com/

平成29年3月、僕は急性骨髄性白血病治療のためさい帯血移植を受けました。

入院中より、がんを罹患した身では臓器提供やドナー登録はおろか献血もできないということを知り、いただいた造血幹細胞や血液の恩返しはどうすればいいかということを考えていました。

とあるご縁でBMT神奈川を知り、すぐに興味を持ち、献血併行ドナー登録会を手伝わせていただいた際、献血カーに並ぶ人々、採血を終えて腕を押さえながら出てくる人々、そしてドナー登録をする人々を目の当たりにしました。

感動しました。ティッシュを配りながら涙が出そうなほど。

このような人たちが僕や移植病棟でともに励まし合った仲間たちを救ってくれていたのかと目の前の光景に強い衝撃を受けました。

撮影：小北
東海大学医学部付属病院納涼祭にて

この初心をずっと忘れることなく大切に、そして諸先輩方が長い年月と熱意と労力を懸けて作ってくれたしっかりとした土台の上で、やれることをコツコツとやっていく所存です。

横浜 Leaf 献血ルームでの活動開始

県内で 3 箇所目、横浜リーフ献血ルームでのドナー登録登録会が 6 月から始まりました。コーヒーの香りが漂うカフェのようなゆったりとした献血ルームです。

いつものように、パンフレットとティッシュを持って立っていると、怒った顔をした男性が聞きたい事があるとやって来ました。

「ドナーの適合通知が届いて、病院に行って血圧を測ったら 150 だった。たった一言あなたは駄目です！と言われた。」

たった一言。しかも小児科の外のガヤガヤした廊下の隅っこで。

「血圧なんてたまたま 150 あっただけじゃないか！」

相変わらず表情が怒っている…

「それからは次回の通知のために血圧に注意し、節制して気を付けて過ごしているのだが。……その時の患者さんは、その後どうなったのか？を聞きたい。」

ずっとずっと心配されていたのか、聞きたい事の意味がやっとわかりました。

村上会長が穏やかに説明すると、安心したように帰って行きました。

この日はもう 1 人声をかけて来た人がいました。

「子供が 3 歳の時バンクからの移植を受けて、今は大学生です！」とニコニコしたお父さん。

嬉しかった。思い出しても嬉しくて温かい気持ちになります。

初回 6/16（土）は、20 名に説明、16 名に登録していただきました。いろいろな人たちに支えられている骨髄バンク。そして、こちらが元気をもらえる登録会。救える命のために、ずっと続けていきたいと思います。

―小野（さ）

円覚寺チャリティーコンサート報告

4 月 7 日(土)、恒例の鎌倉円覚寺でのチャリティーコンサートを開催しました。

桜は急いで咲いてしまってコンサートのころにはすっかり葉桜でしたが、その分春は深まって穏やかで暖かい日ざしに恵まれた一日でした。

たくさんのお客様にご来場いただき、感謝申し上げます。

◆登録会実施結果

日付	開催場所	登録/説明
3/22(木)	海老名市役所	6/12
4/4(水)	多摩大学	10/13
4/5(木)	横浜商科大学	12/18
4/8(日)	相模原市民桜まつり	12/15
4/9(月)	東海大学（湘南キャンパス）	12/25
4/11(水)	明治大学（生田キャンパス）	11/23
4/22(日)	イオン相模原店	12/13
4/23(月)	日本体育大学（健志台キャンパス）	13/13
4/26(木)	東京都市大学	8/11
4/26(木)	関東学院大学（金沢八景キャンパス）	10/12
4/28(土)	咸臨丸フェスティバル（浦賀）	5/7
5/7(月)	東京工芸大学（厚木キャンパス）	13/21
5/9(水)	東海大学（湘南キャンパス）	9/12
5/9(水)	神奈川県庁	10/11
5/10(木)	文教大学（湘南キャンパス）	10/14
5/11(金)	東京農業大学（厚木キャンパス）	11/20
5/14(月)	神奈川大学（横浜キャンパス）	11/15
5/22(火)	神奈川大学（湘南ひらつかキャンパス）	12/14
5/25(金)	洗足学園音楽大学	14/17
6/1(金)	相模原市役所前	6/6
6/3(日)	ドラゴンボートレース（山下公園）	6/15
6/4(月) 6/5(火)	防衛大学校	26/29
6/8(金)	東海大学医学部付属病院	13/19
6/17(日)	立場駅前	11/14
6/19(火)	川崎市役所	16/18
6/20(水)	本厚木駅前	5/5
6/26(火)	明治大学(生田キャンパス)	12/18
6/26(火)	県立保健福祉大学	28/33
7/1(日)	横須賀中央駅（児童図書館）	7/7
7/2(月)	日本体育大学（健志台キャンパス）	15/20
7/6(金)	相模原市役所	19/20
7/10(火)	北里大学(相模原キャンパス)	20/33
7/19(木)	横浜市役所	16/19
7/21(土)	横須賀中央駅	15/16
7/24(火)	海老名市役所	11/11

◆献血ルーム登録数集計(H30/3 月～7 月 12 回)

(登録数/説明数)

	川崎 (5 回)	横浜 クロスポート (5 回)	横浜 Leaf (2 回)
合計	56/65	67/81	29/36
累計(27/5～)	305/384	358/500	29/36

☆6 月から横浜Leaf献血ルームでも説明を開始しました。

毎月第 2 土曜：横浜東口クロスポート献血ルーム
毎月第 3 土曜：横浜 Leaf 献血ルーム
毎月第 4 土曜：かわさきルフロン献血ルーム

◆日本骨髄バンクの現況（H30 年 6 月末現在）

骨髄バンクデータ集より	全国	神奈川県
ドナー登録者数	487,056	21,098
患者登録者数	3,857	74
移植実施数	22,087	11,96

◆その他の活動報告◆

3/10(土)　医療講演会・患者相談会
4/7(土)　円覚寺チャリティーコンサート
5/26(土)　骨髄ドナー登録説明員養成講座
6/1(金)　開港祭ドナー説明会
6/23(土)　第 9 回患者サロン

◆今後の活動予定◆

8/15(水)/16(木)　神奈川県庁舎ドナー登録会

9/16(日)　13:30~16:30（P4 参照）
かながわサポートセンターにて
シンポジウム「今、ドナーに希望を求めて」

当会のオリジナルマークができました!

今後、エコバックなどの商品を作成し販売する予定です。
売り上げはすべて当会の運営資金となります。
詳細は次号でお知らせいたします。

◆ご寄付＆募金のご報告◆
みなさまありがとうございました

【ご寄付】

円覚寺管長　横田南嶺　様	3,0000 円
加藤　俊一　先生	10,000 円
坪郷　佳英子　様	10,000 円
関電気設備　様	10,000 円
小原流鎌倉支部　様	5,000 円
服部　忠男　様	20,000 円
大谷　巻枝　様	10,000 円
伊勢　徹　様	4,000 円
大石　康子　様	6,000 円
平川　依久子　様	3,000 円
笠原　光子　様	5,000 円
船曳　哲典　様	100,000 円
コットンキャップの会　様	10,000 円
高橋　道子　様	20,000 円
望月　恵子　様	7,000 円
二井　百合子　様	10,000 円
相模原中央ライオンズクラブ　様	100,000 円
笠原　光子　様	53,000 円
伊藤　慎吾　様	10,000 円
RTH プランニング天法楽　様	50,000 円

【募金】

円覚寺チャリティーコンサート	17,650 円

＋＋＋

私たちの活動は善意のご寄付で支えられています。
ご協力をお願いいたします。

＋＋寄付の振込先＋＋
郵便振替口座：　００２３０－８－５５７５１
加　　入　　者：　神奈川骨髄移植を考える会

＝＝編集後記＝＝

総会の報告でも触れていますが、このところほんとうに会員が増えたなあと思います。

年代も若返り、そしてなにより人材が増えました。HPのリニューアル、オリジナルマーク、写真、それからシンポジウムのチラシもみんな最近加わったメンバーのおかげです。そして、自身が病気を経験された人も多いです。

こんな新メンバーは、これからの当会の大きな力となって行くことと思います。これからもよろしくお願いします！